



北秋建 050004

平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 殿

北秋田市長 岸部



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

このことについて別紙のとおり回答いたします。

中期計画に対する意見

今後の道路政策や道路の整備・管理について



直径 3.33m 綴子大太鼓

平成19年5月

北 秋 田 市

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

1) 高速交通ネットワークの確立による生活環境の広域化

大都会では交通形態が多様化しており、利用者がその目的に応じて自由に選択でき、時間の有効活用が図られる。

しかし、地方部においては、いまだに幹線網のネットワークが確立していないため（日沿道二ツ井・鷹巣間）、生活環境の広域化は難しいものとなっており過疎化に拍車をかけている。

2) 道路特定財源の地方部へ、道路施策としての配分枠拡大

道路特定財源の一般財源化ではなく、一定割合を地方部で道路施策として、自由に使用できるように拡大配分する。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

1) 現在ある道路の有効活用を図る

高速料金の値下げや、夜間割引などを実施する事により有料道路の利用率が上がり、生活幹線道路の混雑度が低下する。

これにより、道路の利便性が増し生活環境が充実し道路利用密度の向上が図られる。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

1) 安全で安心して暮らせる環境の整備

地方部の生活関連道路は、施設の老朽化が著しく（特に積雪寒冷地帯の自治体）、一般財源では維持管理が追いつかない状況にあります。

特定財源配分枠拡大により効率的な整備を進め、安全で安心して暮らせる環境の整備を図る必要がある。

特に三次救急医療施設までの時間短縮は、死亡率を下げ、地域住民の生活が守られる。